

臨床研究「口腔がん再建手術後術後鎮静の効果に関する後ろ向き研究」について

筑波大学附属病院歯科口腔外科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

口腔がんの再建手術の手術後に鎮静管理を行った場合と行わなかった場合の合併症とその原因について解析する研究です。

② 研究対象者

2013年1月1日から2021年12月31日までに当院歯科口腔外科で口腔がん再建手術治療を受けた患者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2024年3月31日まで

③ 研究の方法

本学附属病院歯科口腔外科において口腔がん再建手術を行った患者さんが対象です。対象期間において術後鎮静を行った患者さんと術後鎮静を行わなかった患者さんの術後合併症の発生頻度について電子カルテを基に調査します。新たに追加の検査を行うことはありません。

情報の項目

診療記録、血液検査データ、手術記録、胸部エックス線写真について調査を行います。

④ 情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院歯科口腔外科 病院講師 福澤 智

⑥ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑦ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：歯科口腔外科 担当 福澤

Tel 029-853-8111（平日9～17時）